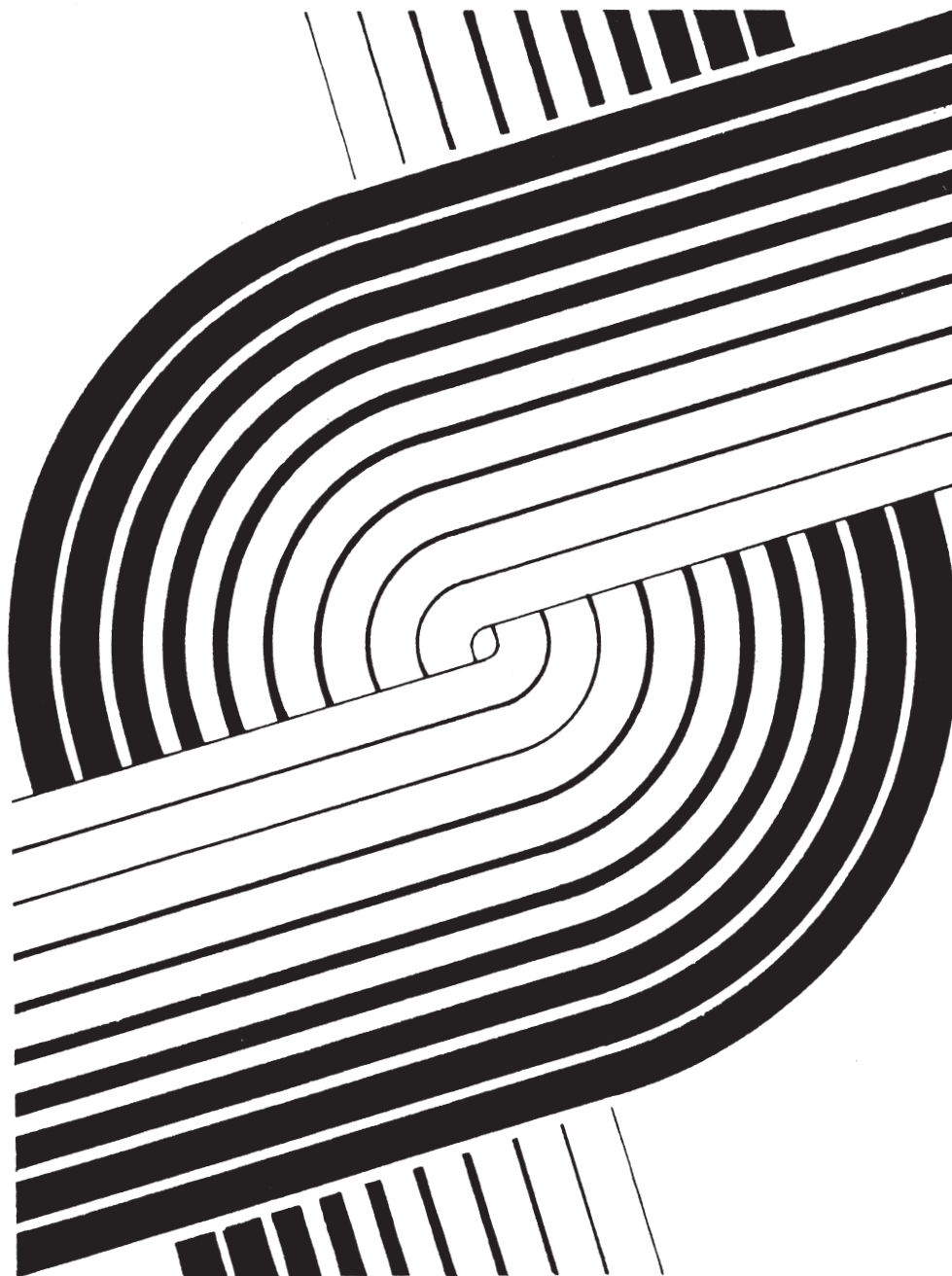


国立特別支援教育総合研究所  
教育相談年報

第 28 号



平成19年6月

独立行政法人  
国立特別支援教育総合研究所

## 国立特別支援教育総合研究所教育相談年報刊行について

### 1. 教育相談年報刊行の目的

本研究所における教育相談事業に関する年次報告とともに、障害のある子どもに係る教育相談について実際的な情報を提供し、各地に整備されつつある障害のある子どもの教育相談機関および、特別支援学校に期待されているセンター的役割としての教育相談活動のいっそうの充実発展に資するため、教育相談年報（以下、年報という）を刊行する。

### 2. 教育相談年報編集会議

- (1) 年報を編集するため、教育相談連絡会内に年報編集ワーキンググループを置き、そのチーフは理事長が指名し、他の委員は教育相談連絡会の委員より部長が指名する。部長が編集長を兼ねる。
- (2) 年報編集ワーキンググループにおいては、年報の内容を企画・調整し、原稿の依頼及び論文の掲載順や体裁を整える。

### 3. 教育相談年報編集方針

年報は次の編集方針に基づいて毎年1回刊行する。

#### (1) 掲載論文について

以下のような内容を掲載する。

- ①本研究所における教育相談の事例
- ②障害のある子どもを対象とした教育相談についての原著論文、論考、資料、展望など
- ③他機関（教育センター等）における事例

#### (2) 掲載論文について

- ①前項 (1) の①及び②の掲載論文は、原則として本研究所職員に限る。
- ②前項 (1) の③の掲載論文は、共同研究者に本研究所等職員が含まれていることとする。

#### (3) 掲載論文の検討

掲載論文の採択等については、年報編集ワーキンググループで整理の上、投稿した職員の所属する〈系〉の責任者が行い、最終決定は、教育相談部長が行う。

#### (4) 教育相談事業について

- ①教育相談事業の年度毎の統計資料および今後の在り方等
- ②全国特別支援教育センター協議会全国大会の情報

## 序にかえて

ここに、教育相談年報第28号を刊行する運びとなった。

平成18年度は第2期中期目標・中期計画の初年度であった。教育相談部においても、中期目標・中期計画を実現するため、業務を見直しつつ、より充実した教育相談活動が実施できるよう取り組んでいるところである。特に、ナショナルセンターとしての教育相談部の役割として、研究や研修に資する活動としての教育相談、地域の教育センターや特別支援学校等の教育相談担当者を支援しうる教育相談活動、海外等に在住する（予定している）障害がある児童生徒を養育している日本人や日本人学校等への支援活動を主に、教育相談活動を行うこととなった。

本年報は、教育相談部が実施している特別支援教育に係わる教育相談活動を報告し、当研究所はもとより、関係諸機関での教育相談活動の一層の充実に資することを願って、毎年刊行しているものである。第2期中期目標・中期計画に沿って、これまでの活動報告のあり方等も検討し、新たな報告様式とした。

本年報では、論考として、特別支援学校における地域支援のあり方としての学校コンサルテーションの実践報告、スヌーズレンの活用について、日本人学校における特別支援教育の実態調査報告の3つを掲載した。

また、年次報告として、平成18年度に教育相談部において実施した教育相談活動の報告、教育相談研究室における研究活動報告、第30回全国特殊教育センター協議会総会における教育相談分科会での報告、全国特殊教育センターの教育相談関係調査結果報告も併せて掲載した。

末筆ながら、この教育相談年報が、障害のある子どもの教育相談に携わっている方々の教育相談活動に何らかの参考となり、寄与できれば幸いである。

なお、本冊子は、平成18年度の事業報告等であるので、使用している用語が一部、旧態のまま（例えば現在、「特別支援学校」が「盲・聾・養護学校」に、「発達障害」が「軽度発達障害」と使用されている、等）になっている箇所がある。制度の移行期の事とご了解頂きたい。

平成19年6月

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所

教育相談部長

後 上 鐵 夫



# 目 次

序にかえて…………… 後 上 鐵 夫

## 論 考

1. 特別支援学校における学校コンサルテーションのあり方  
—地域支援としての実践を通して—  
…………… 浦 郷 京 公  
後 上 鐵 夫 …… 1
2. 教育相談におけるスヌーズレンの活用  
—重度・重複障害のある子どもの主体性を尊重した環境づくり—  
…………… 大 崎 博 史  
石 川 政 孝 …… 7
3. 「日本人学校における特別支援教育」に関する調査  
—2006年度の調査とその結果—  
…………… 後 上 鐵 夫  
小 林 倫 代  
大 崎 博 史  
小 澤 至 賢  
大 柴 文 枝 …… 13

## 活動報告

- 教育相談事業報告 …… 17
- 教育相談研究報告 …… 21
- 全国特殊教育センター協議会との連携  
第30回全国特殊教育センター協議会総会・研究協議会  
—教育相談分科会の内容を中心に— …… 25
- 「全国特殊教育センターの教育相談関係調査」結果 …… 31
- 教育相談運営スタッフ一覧…………… 37

